

**CASBEE 広島 2016年版**  
**(仮称)イズミ新福園店新築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>									<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.4</b>	0.15				<b>3.4</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40				
1.2 遮音				<b>5.0</b>	0.40				
1 開口部遮音性能		遮音性能:T-2		5.0	1.00				
2 界壁遮音性能				-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-				
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20				
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.1</b>	0.35				<b>2.1</b>
2.1 室温制御				<b>3.3</b>	0.50				
1 室温				3.0	0.45				
2 外皮性能		断熱性能の高い建材の採用		5.0	0.20				
3 ゾーン別制御性				3.0	0.35				
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20				
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	0.30				
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.9</b>	0.25				<b>3.9</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.53				
1 昼光率				-	-				
2 方位別開口				-	-				
3 昼光利用設備				3.0	1.00				
3.2 グレア対策				-	-				
1 昼光制御				-	-				
3.3 照度				-	-				
3.4 照明制御		自動照明制御		<b>5.0</b>	0.47				
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.5</b>	0.25				<b>4.5</b>
4.1 発生源対策				<b>5.0</b>	0.50				
1 化学汚染物質		ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を使		5.0	1.00				
4.2 換気				<b>4.0</b>	0.30				
1 換気量				3.0	0.50				
2 自然換気性能				-	-				
3 取り入れ外気への配慮		空気取り入れ口は各種排気口と異方位かつ6m以上離隔		5.0	0.50				
4.3 運用管理				<b>4.0</b>	0.20				
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.50				
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50				
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30				<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.6</b>	0.40				<b>3.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40				
1 広さ・収納性				-	-				
2 高度情報通信設備対応				-	-				
3 バリアフリー計画				3.0	1.00				
1.2 心理性・快適性				<b>3.6</b>	0.30				
1 広さ感・景観		売場天井高:3.9m以上		5.0	0.34				
2 リフレッシュスペース				3.0	0.32				
3 内装計画				3.0	0.34				
1.3 維持管理				<b>4.5</b>	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い仕上げ、水を使用して洗浄可能な設計等		5.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保		安全な排水経路、清掃用電源の計画、清掃用照度の確保等		4.0	0.50				
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.5</b>	0.30				<b>3.5</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>4.2</b>	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		耐用年数の長い外装材の採用		5.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長い内装材の採用		5.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクトには全てガルバリウム鋼板を採用		5.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		耐用年数の長い配管材の採用		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				<b>3.7</b>	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備		グリーン購入法適合品の水栓器具採用、非常用水栓の設置等		4.6	0.20				
3 電気設備		非常用発電機の設置、無停電電源設備の設置、浸水対策		4.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備		通信手段の多様化、浸水対策、TVによる災害情報入手		4.0	0.20				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.7</b>	0.30	-	-	3.7
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.4</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	配管配線等により仕上材を傷めず修繕・更新可能	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	配管配線等により仕上材を傷めず修繕・更新可能	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.34	-	-	2.9
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	2.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>4.0</b>	0.40	-	-	4.0
まちなみ調和に配慮した景観計画							
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	2.5
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	3.5
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	3.4
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			[BPI][BPI <sub>m</sub> ] = 0.93	3.5	0.20	-	3.5
<b>2 自然エネルギー利用</b>				3.0	0.10	-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>			[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.76	3.5	0.50	-	3.5
<b>4 効率的運用</b>				3.5	0.20	-	3.5
集合住宅以外の評価				3.5	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	管理体制、エネルギー消費量等の計画	4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	3.7
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	3.4
<b>1.1 節水</b>			<b>4.0</b>	0.40	-	-	
節水型器具の採用							
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.8</b>	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減	デッキ合成スラブ等の採用	5.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:ビニル床タイル,壁:100角タイル,階段:再生木デッキ	5.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能な構造	4.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.6</b>	0.20	-	-	3.6
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>4.0</b>	0.30	-	-	
該当物質を含まない建材種別を1種別採用							
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.5</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP<0.01、1<GWP<50発泡剤を用いた断熱材を使用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.4
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>3.8</b>	0.33	-	-	3.8
LCCO2排出率:79%							
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	3.1
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.7</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	自主的な対策を実施	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分なスペースの駐車・駐輪場確保、渋滞緩和に配慮した導入計画	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	3.2
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	